

令和 8 年 9 月市議会 教育厚生委員会資料

所管事項調査に関する資料③

目 次	ページ
救急搬送における選定療養費の徴収について	
1 取組概要	・ ・ ・ 2
2 導入開始後の状況	・ ・ ・ 3 ～ 6

市 民 健 康 部
令 和 8 年 9 月

救急搬送における選定療養費の徴収について

救える命を救うために
～適正な受診で救急医療を守ろう～



選定療養費 紹介状を持たずに大病院を受診する患者に対してかかる費用

長崎医療圏における取組概要

▶▶ 緊急性が認められない患者が救急車搬送された際の選定療養費の徴収



対象医療機関

3 病院（長崎大学病院・長崎みなとメディカルセンター・長崎原爆病院）



費用

7,700円（税込）

※長崎大学病院で時間外に受診した場合、
別途時間外選定療養費5,500円（税込）が徴収される場合があります。



開始日

令和8年7月1日



緊急性の評価

総務省消防庁「ためらわず救急車を呼んでほしい症状」等を参考に、
医師等の意見を踏まえ、ガイドラインを作成。ガイドラインに基づき、
救急車要請時の緊急性を医師が判断。

2 導入開始後の状況

(1) 導入開始後 1 か月の状況（令和 8 年 7 月）

ア 選定療養費徴収に伴う状況（3 病院及び市消防局への聞き取りによる）

- | | | |
|-----|--------------|------|
| (ア) | 徴収件数 | 12 件 |
| (イ) | 病院現場でのトラブル件数 | 0 件 |
| (ウ) | 搬送現場でのトラブル件数 | 0 件 |

開始後 1 か月では、病院や救急の現場において大きなトラブルは報告されておらず、救急車の呼び控えと思われる事例も無かった。

イ 今後に向けて

- ・これまでのところ大きなトラブルは無く順調に運用されている。
- ・程度別搬送件数を見ると症状が重い患者が救急車を利用できている現状が見て取れる。
- ・応需率等を見ると搬送時の救急隊における病院への交渉は昨年よりもスムーズになっている。
- ・#7119 や夜間急患センターの利用が増えていることから、市民が救急車を呼ぶ前に各所へ相談する機会が増えている。



市民の救急医療に対するご理解が浸透し、ご協力が得られていると思われる。
今後も引き続き分析を進め、継続して傾向を把握するとともに更なる周知に努めたい。

(2) 導入後の主要な数値比較

ア 救急搬送（長崎市消防局提供）

(ア) 症状程度別搬送件数

	軽症	中等症	重症	死亡	合計
令和8年7月	633件 (30.0%)	1,319件 (62.5%)	140件 (6.6%)	19件 (0.9%)	2,111件 (100.0%)
令和7年7月	797件 (36.8%)	1,220件 (56.3%)	124件 (5.7%)	26件 (1.2%)	2,167件 (100.0%)
(参考) 令和7年全体	8,925件 (35.3%)	14,346件 (56.8%)	1,647件 (6.5%)	337件 (1.4%)	25,255件 (100.0%)

(イ) 応需・不応需

	搬送者数	総交渉回数	総不応需回数	応需率	不応需率
令和8年7月	2,111件	2,670回	559回	79.1%	20.9%
令和7年7月	2,167件	3,174回	1,007回	68.3%	31.7%
(参考) 令和7年全体	25,255件	38,624回	13,369回	65.4%	34.6%

(ア)、(イ)とも昨年同月に比べ適正な救急医療の形に向かっている傾向が見て取れる。

イ # 7 1 1 9（救急安心センター）への相談状況（長崎県提供）

長崎市	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年
1 月		837 件	1, 008 件
2 月		725 件	811 件
3 月		830 件	817 件
4 月		742 件	846 件
5 月		887 件	1, 071 件
6 月		821 件	911 件
7 月		985 件	1, 222 件
8 月	1, 044 件	1, 223 件	－
9 月	800 件	937 件	－
10 月	742 件	865 件	－
11 月	703 件	937 件	－
12 月	791 件	1, 039 件	－

令和 6 年 8 月の制度開始以来、相談件数は増加傾向にあるものの、令和 8 年 7 月の相談件数は昨年同月に比べ約 2 4 %増加した。

ウ 夜間急患センターの利用状況

全診療科	4月	5月	6月	7月
令和8年度	425件	526件	465件	556件
令和7年度	637件	645件	534件	563件

夜間急患センターの利用者数は令和8年度は令和7年度から減少傾向にあったが、導入後の令和8年7月の利用者は昨年並みとなった。

〈参考〉選定療養費救急搬送時徴収導入後 イメージフロー

